

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

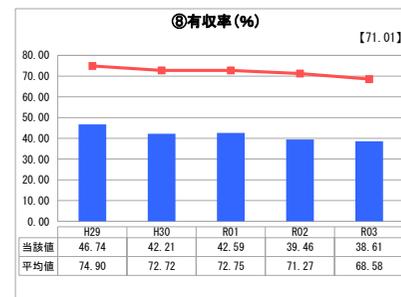
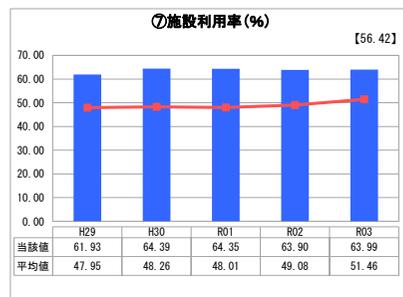
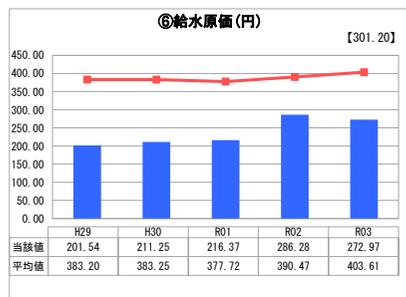
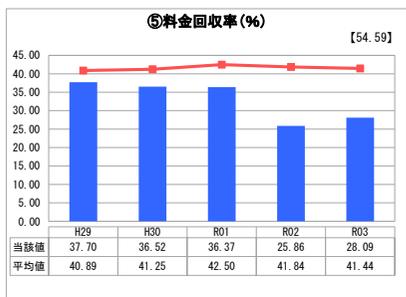
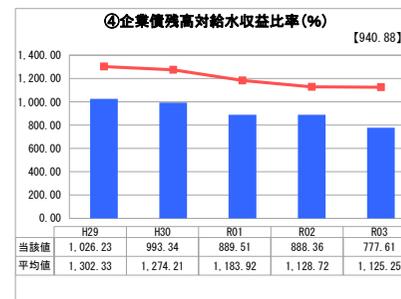
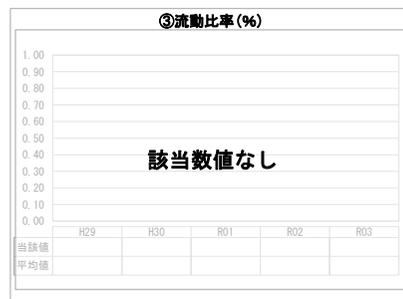
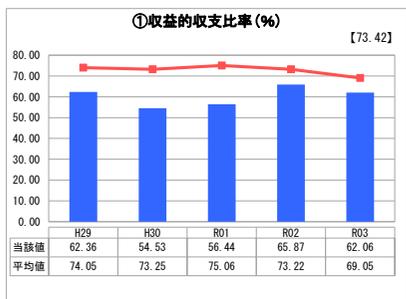
岐阜県 白川村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	96.35	1,254	

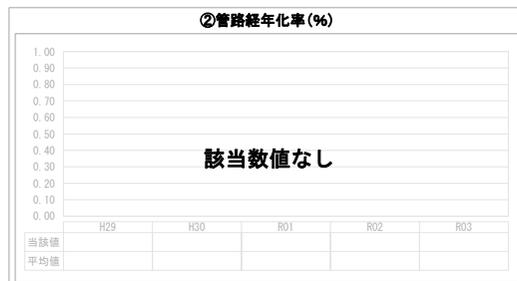
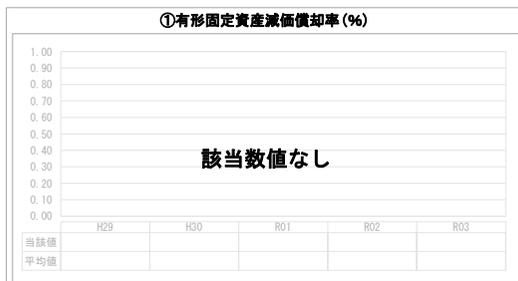
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,541	356.64	4.32
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,452	0.80	1,815.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

人口減少やコロナによる観光客の減少などで収益的収支率が減少。料金収入が減少しているため、一般会計からの繰入金に依存している。そのため、料金回収率の改善策として料金改定等を検討する必要がある。有収率が類似団体の平均値よりも低く漏水等の可能性も考えられることから調査を検討する。

### 2. 老朽化の状況について

老朽化の修繕や漏水調査を計画的に実施していく必要がある。

### 全体総括

今後の人口減少により料金収入が減少してくるが、老朽化する施設・管路などの更新が必要である。そのため経費の削減や効率的な業務の遂行に努め、水道会計の健全運営に努める必要がある。料金収入が減少してくるので料金改定の検討をしていく必要がある。